

## 豪州株式市場は配当利回りが相対的に高いことが特徴

- 豪州株式市場の配当利回り別構成比率を見ると**5%以上の配当利回りが全体の約22%占めています。**
- 一方、米国株式市場はわずか約2%にとどまっており、配当利回りの構成比に大きな違いがみられます。

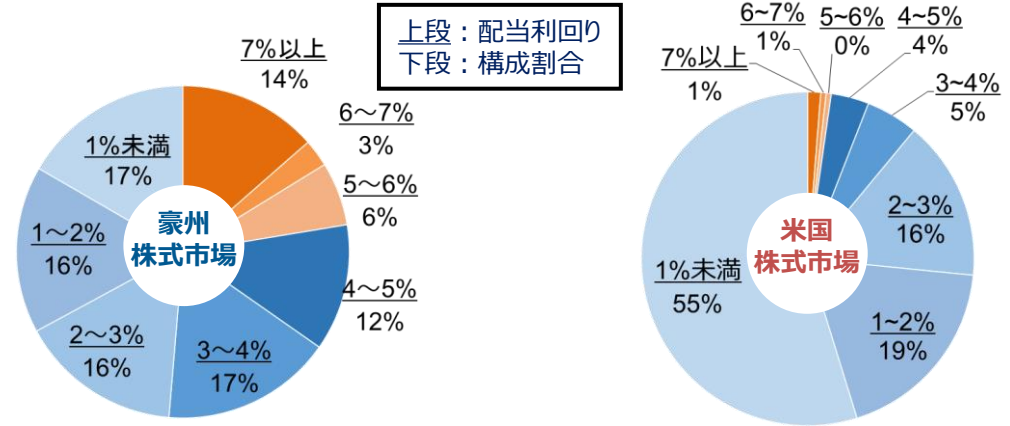
(出所) ファクトセット

※構成比は時価総額ベース

※四捨五入の関係で上記グラフの合計が100%にならない場合があります

## 豪州株式市場と米国株式市場の配当利回り別構成比

(2022年1月末時点)



## 配当の積み上がりがリターンの安定に寄与

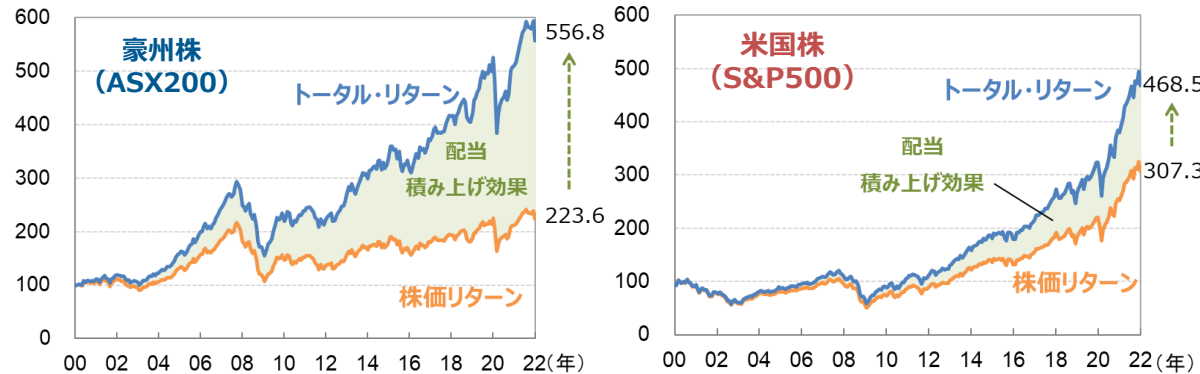
- 右図を見ると、**豪州株は相対的に高い配当利回りを長期的に積み上げたことで、トータル・リターンへの寄与が大きいことが分かります。**
- 不透明な投資環境が続くときこそ、安定的な配当収入が期待される豪州株は有望な投資対象であると考えられます。

(出所) ブルームバーグ ※1999年末を100として指数化

※「配当積み上げ効果」は配当の再投資分を含みます。

## 豪州株と米国株の長期リターンの推移

(2000年1月末～2022年1月末)



**豪州株式市場は配当利回りが相対的に高いことが特徴。配当利回りが高いことにより配当収益が蓄積され、安定したリターンが期待できる。**

**次号は配当の源泉となる主要先進国企業の利益率をご紹介します**